

## 令和4年度 第3回 岡山県地方独立行政法人評価委員会 議事録

- |   |      |  |
|---|------|--|
| 1 | 日 時  | 令和4年7月21日（木）10:00～                               |
| 2 | 場 所  | ピュアリティまきび（岡山市北区下石井）                              |
| 3 | 出席委員 | 萩原委員長、小田委員、清水委員、秋山専門委員、桑原専門委員                    |
| 4 | 議 事  | （1）公立大学法人岡山県立大学 令和3年度に係る業務の実績に関する<br>評価結果（案）について |
| 5 | 内 容  | 事務局からの説明後、質疑応答                                   |

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
<p>評価結果については、前回の委員会での意見を参考意見として付しているほか、評価時の観点についても県立大学から説明があり、特に追加はない。</p>	
<p>今後の入試体制の強化やネットワーク整備について、しっかり取り組んでほしい。また、UI戦略の推進についても、県全体及び地元総社での社会貢献を頑張ってもらいたい。</p>	
<p>コロナ禍の影響がある中、英語学習で大きな成果を上げたのは評価に値する。ただ、共同研究費については、健闘していると思うが、目標に近づけるようにさらに頑張ってもらいたい。</p>	
<p>デザイン学研究科の進路決定率について、2人のうち1人が進路が決まらず、50%という数字になるのは気の毒だ。</p>	
<p>項目別の評価、全体の評価結果について、特に異論はない。 実績と計画の関係性について、手続上、先に令和4年度の事業計画を立て、その後、令和3年度の実績報告が出てくるが、そもそも事業計画は実績をある程度踏まえたものなのか。 （例えば、令和3年度のTOEICの点数が大きく伸びて評価も高いが、令和4年度の事業計画の目標は、わずかな伸びとしている。）</p>	<p>確かに、実績より次年度の計画を先に説明することには違和感があるが、県議会への報告など、制度上この形でせざるを得ない。 ただ、学内での取組として、一旦12月末に年度実績見込を取りまとめ、評価委員会や幹部で共有し、それらを踏まえて令和4年度の事業計画を立てている。 令和2年度から新たに学部別の外部評価委員会を立ち上げ、特に教育の質に関して評価をしていただいております。委員からの助言等を盛り込んだ形で計画を立てるよう各学部長に指示している。</p>
<p>評定平均値はこの3年で毎年0.1点ずつ上がってきており、トータルとしてはいいのだろう。 この評価委員会の意義は、これから努力すべきことを議論することによって、次への励みにすること、活用することだと思う。令和3年度は3.1点と順調だが、これから先まだ3年ある中で、ほぼ目標を達成したような項目もあり、今後どのように評価をしていくのか。細かいところを見ていくのか、それとも途中で何か修正するのか。</p>	

委員発言要旨	大学・事務局発言要旨
<p>今回の令和3年度の実績評価は、1にも2にも今後の大学運営に活かすことが目的であって、県としても、文書にまとめ県議会へ報告することがフォーマルだが、一方、この委員会の中でのいろいろな意見については、インフォーマルに積極的に取り入れて、令和4年度の運営に活かしてほしい。</p> <p>活性化している会社では、月次会議や役員会議等のオフィシャルな会議での決定事項は全体の2割程度で、残りはインフォーマルな場で決まってしまうのだ。</p> <p>概念を共有するために文書に落とすことも大切だが、教授会などの幹部会でこの評価委員会の意見を議論し素早く動く、そういう組織風土にされたいと思う。</p>	
<p>県大の特色である社会貢献について、さらに力を入れてほしい。また、内部質保証の体制整備についても頑張してほしい。</p>	
<p>システム更新が遅れた理由は何か。</p>	<p>入札しても応札がなく、価格面で折り合わなかったことが原因だ。4つのシステム更新を予定していたが、再入札で予定価格を上げざるを得ず、予算の都合上、一部を令和4年度に持ち越したものである。</p>
<p>昨年来の半導体不足により、システム関係以外にも様々な機器や製品で納期の遅れや価格高騰の影響を受けているが、令和4年度の見通しはどうか。</p>	<p>同様の状況であり、今年度も予算を考慮しながら入札しないといけない。</p>
<p>システム更新の遅延によって、大学運営上、大きな支障はないのか。</p>	<p>システムに関しては大丈夫だが、他にも、電気代が当初見込んだ額の約1.5倍に膨らむ見通しであり、県とも相談しながら対応していきたい。</p>
<p>制度上の実績評価では、未来に向けて大学や大学院の魅力をどう高めていくかが見えてこない。県立大学ならではの特色や教員と学生の距離感などの良い点を活かしながら、もっと魅力を高めてほしい。キャンパスソングのように現代的で広がりのある県立大学になれば、志望する人も増えるだろう。今後の発展のため、未来に向けた評価項目もあればいいと思う。</p>	
<p>認証評価の受審（令和5年度）に向けて自己点検を行う際には、内部質保証や外部評価のほか、学生の声をどの程度聞いているかということが昨今問われている。頑張してほしい。</p>	